

多言語によるDLAワークショップ 全体講義①

複数言語アセスメントって、何だろう？

大阪大学 櫻井千穂

2022/2/12 多言語によるDLAワークショップ

主催：MHB学会国内CLD児教育部会・東京外国語大学多言語多文化共生センター

共催：大阪大学外国ルーツの子どもたち研究会

JSPS(B)21H00538「文化的言語的に多様な子どもの教育のための汎用的言語能力の参照枠の構築」の助成を受けました

はじめに

- CLD (Culturally and Linguistically Diverse) 児教育の目的を考えます。
- 複数言語アセスメントがなぜ必要かを考えます。
- DLAの概要を説明します。

CLD児のことばの習得とこころの発達

いろいろな要因が影響する



CLD児教育の目的

- 子どもの「ことば」と「こころ」の健やかな発達を促すこと
- 子どもがことばをつかって **考え、他の人と共有**し、またさらに **考えを深め、自分に自信をもって生きていける**ように支援すること
- ~~子どもにとって意味のない「ラベル」としての言語を教えることではない~~
- **「生きたことば」**を自分のものにできるよう支援すること



発達のプロセスで活用することばは何語でもいい。
子ども自身が自分の頭の中を動かせることばを使う！
その上で、はじめて新しいことばを習得できる。

モノリンガルのための教育カリキュラムによる圧力

日本の学校は、日本語がわかる・できる子どものための教育カリキュラムがとてもしっかりしている(すばらしい！)

...しかし、CLD児にとっては...

- 家庭で使うことば(自分を表現できたはずの母語、家族とつながる継承語)は「**なかったもの**」にされる
- その間に母語・継承語を**本当に失ってしまう**
- わかる・できる授業が受けられないから、**日本語ものびない**



→ 長期間のギャップのせいで、考えるためのことば(日本語も家庭言語も)を習得できない子どもがたくさん.....

なぜ複数言語のアセスメントが必要か？

- CLD児の持っている全てのことばを表出できる場をつくる
= **全てのことばに光を当てる**



本来、持っている最大限の力を引き出す

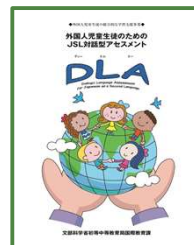


その力を育てる



DLA(Dialogic Language Assessment) 文部科学省(2014)

Dialogic(対話型) Language(言語) Assessment(アセスメント)



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/1345413.htm

子どものことばは、**聞く→話す→読む→書く**の順で育つ
対話を通して読み書きまで測る支援つきのアセスメント

DLAの理論的背景(1)

- 言語相互依存説(Linguistic Interdependence Principle, Cummins,1984)
- CLD児のことばの力の3面(Cummins,2001)

- 会話の流暢度 (Conversational Fluency)
- 個別的言語能力 (Discrete Language Skills)
- **教科学習言語能力 (Academic Language Proficiency)**

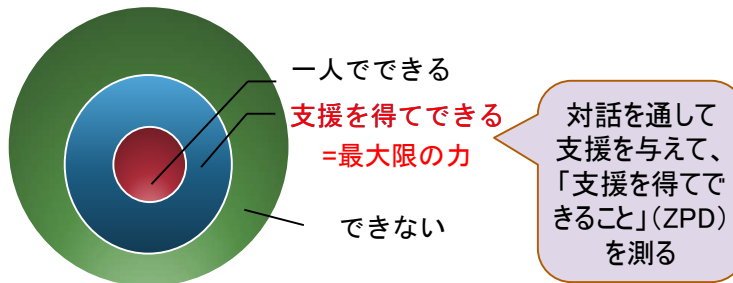
CLD児の複数のことばは影響し合っている

日常的な会話力は1~2年で習得、
教科学習で必要となることばの力は
習得に5~7年かかる

DLAは複数の言語で日常的な会話力から
教科学習言語能力の一部を測れる構造

DLAの理論的背景(2)

Dynamic Assessment
発達最近接領域(Zone of proximal development)
(Vygotsky, 1934)



DLAの目的: 評価と学習

対話を通して、

- CLD児の**最大限の力**を「引き出す」+「測る」
⇒ 課題をする過程、ことばを使う過程を見える化！
- CLD児の力を、「認める」+「育てる」
⇒ 学習へのやる気を促す



DLAの開発の経緯

- ・カナダ日本語教育振興会(2000)「バイリンガル会話テストOBC」
(Oral Proficiency Assessment for Bilingual Children, 1980年代～)

➡ **DLA<話す>のベース**

- ・TOAM(Test of Acquisition and Maintenance)(岡崎, 2002)の口頭語彙テスト

➡ **<はじめの一步>の語彙力チェックのベース**

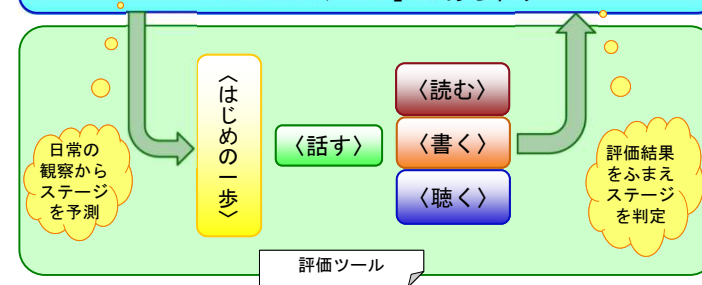
- ・「対話型読書力評価」(Dialogic Reading Assessment, 中島・櫻井2012)

➡ **DLA<読む>のベース**

このフォーマットを使って<書く><聴く>を開発

DLAの構造

JSL評価参照枠<全体> & <技能別>
日本語のレベルを在籍学級へ参加と支援必要度の段階から
「6つのステージ」であらわす



これは、日本語の評価参照枠。複数言語の評価参照枠は、現在、開発中。

全部やる必要はない。発達に応じて実施。

DLAの実施方法

- テンポよく、楽しい雰囲気で
- 対話中は採点しない（子どもにテストだと思わせない）
- ほめておわる
（否定したり、訂正したり、答えを教えたりしない）
- 時間をかけすぎない

ビデオを
ちょっと
見てみよう！

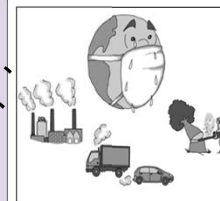


例1：滞日6ヶ月、小学4年生、日中CLD児の日本語

日本語での環境汚染の説明

JSPS(C)17K02875のデータ

これに一。んー、朝のは、**白いの**、**ゲンカ**があるしー。で、夜に一、誰**でも**いないから、**黒いの**、あるしー。**ゲンカ**がないから、落ちてる....で、こ、こっちも。で、まだ**この一**、**この一**、**やつに**、**こう**するから、いっぱいになったから、木が全部なくなっちゃってるから、**りきゅう**が、(笑)。風邪になる。



例1：滞日5ヶ月、小学4年生、日中CLD児の中国語

中国語での環境汚染の説明

JSPS(C)17K02875のデータ

哦，就是说，地球被污染了。因为，因为,,,我知道这个为什么冒着黑烟。因为它晚上嘛。就是说，早上的时候，中国的大烟囱，就是说冒得是白烟，净化过的。晚上，等人们睡着了的时候，他就使坏，它就冒黑烟。不净化的，直接就冒出来。然后，这个是，汽车尾气，对地球造成了很严重的伤害。然后，砍树。如果龙卷风来的时候，人们就反抗不了了。

訳：あ、つまり、地球は汚染されています。だから、だから...これはなぜ黒い煙が出てきているのかを知っています。これは夜ですから。つまり、午前中、中国の大きな煙突からは白い煙、浄化された煙が出てきます。夜、人々がお休みになったら、彼らは悪いことをして、浄化されていない黒い煙を流したわけです。そして、これは、自動車の排気ガスです。地球にとても大きな被害を与えています。そして、木を切ることです。竜巻が来たら、人々は抵抗することさえできません。



例2：日本生まれ、小学2年生、日英CLD児の日本語

日本語でのストーリー・テリング

JSPS(C)20K00731のデータ

ブタが自分の家作って一、弱い家とちょっとだけかたい家と一、めっちゃくちゃかたい家が作って一、で、オオカミ来て一、でな一、ブタの家が壊して一、でな一、ブタがな、な一、ちょっとだけかたい家、行って一、オオカミをふーってやってな一、弱かって一、でもな一、でも、でな一、ぶたがな一、めっちゃくちゃかたい家行って一、で、オオカミ、疲れて一、でな一、考えて、家行って一、下おちて一、でな一、ブタが、下のやつを火に、熱いスープに、オオカミのしっぽに熱くやって、オオカミもっと飛んだ。



例2: 日本生まれ, 小学2年生, 日英CLD児の英語

英語でのストーリー・テリング

JSPS(C) 20K00731のデータ

....XXX dog up here. And dad says don't come here. Stay here.....Floppy is very dirty?...Hee need to take your bath!...Floppy is doing mess. Floppy eats Papa's clothes....Brother, Okay but XXX brother Floppy come his father home....Floppy eats XXXX and dad is angry....And dad is very angry, dog is noisy, and he can't sleep.

訳: ...XXX 犬は(階段を上がってきて)ここにいる。...そして、お父さんはここに来るなと言った。...ここ(下の階)にいなさい。...フロッピーはとても汚れている? ...お風呂に入りなさい! ...フロッピーが汚してるんだ。フロッピーはパパの服を食べちゃうんだ。...お兄さん、OK、XXX お兄さん、フロッピー、お父さん帰ってきて... フロッピーがXXXXを食べたら、パパが怒った。...そしてお父さんはとても怒っていて、犬がうるさくて、眠れないんだ。



まとめ

- 一つのことばだけを通してCLD児をみようとしても一部分しかみえない!
- CLD児が頭の中で、何を考え、感じているのか、持っている全てのことばを使って、何ができるのかをみる必要がある。
- 見ようとしなければ「最初からなかったもの」にされてしまう力に光を当て、その力を育てる必要がある。

まとめ

目の前にいる子どもを、
ただ、日本語ができない子どもと
みなしますか?

それとも、
複数のことばと文化をもつ
可能性のある子どもとみなしますか?

まとめ

子どもの可能性を奪わない
社会を作っていく責任

今日のイベントは
そのための第一歩

